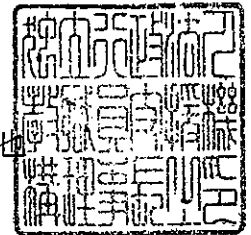


独教次調第64号
平成29年10月4日

各 都 道 府 県 知 事
殿
附属学校を置く各国立大学法人の長

独立行政法人教職員支援機構

理事長 高岡 信也



(印影印刷)

平成29年度小学校における外国語教育指導者養成研修の実施について（依頼）

日頃から、独立行政法人教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記の研修につきまして、別添の実施要項に基づき実施することといたしました。

ついては、受講者の推薦がある場合は、別添の実施要項中「6 受講者(3)推薦手続」によらず、別紙「推薦名簿」を平成29年11月24日(金)までに、電子メールにて下記宛て御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ (<http://www.nits.go.jp/>→研修・セミナー→③グローバル化に対応する指導者養成研修→小学校における外国語教育指導者養成研修) よりダウンロード可能となっております。

また、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。貴職におかれましては本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いします。受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。

【本件担当】

独立行政法人教職員支援機構

次世代型教育推進センター 一ツ橋事務所

調査企画課 調査企画係（横澤、唐澤、静田）

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

学術総合センター11F

TEL 03-4212-8450

FAX 03-4212-8466

E-mail:kikaku@nits.go.jp



(別添)

平成29年度小学校における外国語教育指導者養成研修 実施要項

1 目的

小学校の外国語教育を担当する教諭、指導主事等に、新学習指導要領における外国語活動及び外国語科の実施に向けた推進方策について理解を深めるとともに、教員の外国語教育を円滑に進めるための方策等を総合的に習得させることを通じて、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構、福井県教育委員会

3 共催 文部科学省

4 期間 平成30年2月28日(水)～3月2日(金)

5 会場 福井県教育総合研究所
〒919-0461 福井県坂井市春江町江留上緑8-1
TEL: 0776-58-2150 / FAX: 0776-58-2151

6 受講者

(1) 受講資格

都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

小学校及び特別支援学校、中学校外国語科の教諭等であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師及び小学校における外国語教育推進の指導者としての活動を行う者

当機構の修了証書をもって単位認定を行う(予定も含む)教職大学院の学生

(2) 推薦人数

各都道府県(中核市分を含む。)においては2名以上、各指定都市においては1名以上とする。

(3) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において、推薦者を取りまとめ、独立行政法人教職員支援機構(以下、「当機構」という)「研修情報登録システム」(別添「受講者推薦登録業務操作マニュアル」参照)により、平成29年11月24日(金)までに推薦を行う。

また、受講希望がない場合であっても、担当者情報を登録すること。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、当機構が決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては当機構及び福井県教育委員会で調整を行う。研修運営の関係上、受講者数を最大9ユニット※(180名)までとする。

※ 当機構では、実施する全ての研修、特にその中の演習や協議等において、受講者による主体的・協働的な学びを実施していくため、20名の単位(ユニット)を基本として取り組んでいます。

7 研修内容

別紙「日程表」のとおりとする。演習については、20名の単位（ユニット）を基本として取り組む。

8 事前課題

事前課題を課す。内容等詳細については、受講者決定通知の際に連絡する。

9 その他

(1) 本研修を受講するに当たって、以下①から④の資料を事前の一読すること。

また、③④については、適宜ダウンロードするなどして研修当日に持参すること。

① 小学校学習指導要領解説（平成29年7月 文部科学省）外国語編・外国語活動編

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm

② 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm

③ 小学校学習指導要領（平成29年3月 文部科学省）外国語科、外国語活動

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm

④ 新学習指導要領対応外国語教材“We Can!”（小学校高学年用）（9月21日新教材説明会にて配付。文部科学省ホームページで公表予定）

(2) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(3) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。また、研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用（学校や地域における研修講師等としての活動や各学校への指導・助言等をどのように実施したのか）について、受講者に対するアンケート調査を行う。

(4) 本研修は原則として宿泊研修とし、宿泊の手配等については、各自で行う。

平成29年度小学校における外国語教育指導者養成研修 日程表 (案)

(別紙)

		9:30	10:00	10:30	12:00	14:00	16:50
2月28日(水)			受付	オリエンテーション 開講式	講義1 外国語活動の現状と外国語教育の今後の方向性Ⅰ 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 国際教育課 教科調査官 直山 木綿子 ◎目的: 学校教育における外国語活動の現状と課題を踏まえ、新学習指導要領における外国語教育の在り方を理解する。	研修授業参観・研究協議 外国語活動の充実及び、外国語教育の今後のために求められること ◎目的: 福井県勝山市内の各小学校の研究授業参観を通して、外国語科の実施に向けた推進方策等について理解を深める。	各ユニットで内容の共有
				移動・休憩・食			

		8:30	9:00	10:30	10:45	12:15	13:15	14:45	15:00	17:00
3月1日(木)		受付	講義2 外国語活動の現状と外国語教育の今後の方向性Ⅱ 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 国際教育課 教科調査官 直山 木綿子 ◎目的: 「研究授業参観・研究協議」の整理を通して、新学習指導要領における外国語教育の具体について理解する。	休憩	講義3 外国語教育を円滑に進める指導力向上のための方策Ⅰ ◎目的: 新教材の特色を知り、その活用の具体について理解する。	休憩・食	講義4 外国語教育を円滑に進める指導力向上のための方策Ⅱ ◎目的: 新教材の特色を知り、その活用の具体について理解する。	休憩	講習1 外国語教育を円滑に進める指導力向上のための方策Ⅲ ◎目的: 外国語科の実施に向けて必要な事項を整理し、推進方策等についての知識・指導法を個別協議を通して深める。	各ユニットで内容の共有
				移動・休憩・食						

		8:30	9:00	10:50	11:00	12:00	13:00	14:30	14:45
3月2日(金)		講習2 発表準備 代表班4つ選出 (各会場2つずつ)	移動	代表班の発表 講評	移動	講義5 外国語教育を推進するための指導者として 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 国際教育課 教科調査官 直山 木綿子 ◎目的: 本研修を振り返り、成果等をまとめるとともに、研修講師となるための課題を整理する。	休憩・食	閉講式 各ユニットで内容の共有	
		受付							

事前課題1：外国語活動を円滑に進める指導力向上のための方策

受講者番号	都道府県・指定都市名	所属	職名	氏名

貴地域や貴校における外国語教育の現状や課題について、以下の項目ごとに（1）取組（2）成果と課題を箇条書きにまとめてください。（この資料は、研修に臨むためにまとめてもらうもので、講義、演習では使用しません。）

1 児童の実態に基づいた外国語教育の運営

（1）取組

（2）成果と課題

2 教員の外国語教育指導力向上のための研修等

（1）取組

（2）成果と課題

事前課題2：外国語活動の具体的な取組

受講者番号	都道府県・指定都市名	所属	職名	氏名

次年度からの移行期に取り組む高学年の外国語活動を想定し、その指導案を作成してください（児童一人一人が満足感を味わい、意欲的に取り組む外国語活動指導例。「演習1」で使用。）※作成にあたっては「新教材 We Can! 1 Unit 5, 6, 7, 9」「新教材 We Can! 2 Unit 5, 7, 8, 9」に掲載されている単元のうち、受講者決定時に指定するものとする。

1 学年

2 単元名

3 単元の目標

4 単元の評価規準

5 単元の指導計画（全 時間）

時間	目標	主な活動	評価（評価方法）
1		・	
2		・	
3		・	

6 本時の指導（第 時）

(1) 目標

(2) 評価規準（評価の観点も記載すること）

(3) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価（方法）

注1) A4判2ページ以内とする。

注2) 必要と思われる補助資料等がある場合は、6部（班内配付用）を持参すること。

平成29年度小学校における外国語教育指導者養成研修 推薦名簿

(別紙)

(教育委員会・学校等名)

推薦 順位	氏名	フリガナ (全角)	年齢 (H29.4. 1現在)	性別	所 属			所属機関種別	学校種 (注1)	電話番号 (注2)	経験 年数 (注3)	英語の 免許 (注4)	備考
					名称	職名	郵便番号						
1													
2													
3													
<記入例>													
1	□□ □□	〇〇 〇〇	XX	男	□□□教育委員会□ □課	指導主事	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇 〇-〇-〇〇	中	00-0000-0000		○	
2	□□ □□	〇〇 〇〇	XX	女	□□市立□□小学校	教諭	〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇市〇〇 〇-〇-〇〇	小	000-000-0000	3		

担当者氏名	担当者所属
担当者フリガナ	担当者住所
担当者電話番号	担当者E-mailアドレス

(注1)「学校種」欄には、小学校及び義務教育学校(前期課程)の教職員は「小」、中学校、中等教育学校(前期課程)及び義務教育学校(後期課程)の教職員は「中」と記入してください。指導主事等については、希望する学校種(「小」、「中」のいずれか)を記入してください。

(注2)「電話番号」欄には、事前課題の提出確認の際などに、当機構が受講者と直接連絡を取ることができる電話番号を記入してください。

(注3)小学校における外国語指導の経験年数をご記入ください。

(注4)英語教員の免許を取得している場合には、○をご記入ください。

この推薦名簿様式は、研修情報登録システムとは連動しておりませんので、「登録に必要な情報を確認する」「都道府県・政令市教委等の担当者への提出用」等の用途でご活用ください。

都道府県・政令市教委等のご担当者様におかれましては、域内の推薦者をおとりまとめの上、研修情報登録システムから推薦者のご登録処理をお願いいたします。

※この名簿は、本研修への受講者推薦に際し使用するものであり、それ以外の目的で使用しません。